

# SNK成長の歴史

新日本空調は、ウィリス・キャリア博士が発明した『空調 (air conditioning)』から始まります。米国キャリア社が、昭和5年(1930年)に当社の前身である「東洋キャリア工業」を設立、その後、昭和44年(1969年)にその工事業部門から分離独立して、「新日本空調」としてスタートしました。「技術のキャリア」として、世界を席卷した高い技術力とパイオニア精神は創立時から現在に脈々と受け継がれています。新日本空調グループは、ナレッジとテクノロジーを活用することにより、お客様のみならず、お客様の先にいらっしゃる多くのエンドユーザーを支え、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## 沿革

- 米国キャリアコーポレーションと提携 東洋キャリア工業株式会社創業

- 東洋キャリア工業株式会社の工事業部門を分離独立し、新日本空調株式会社 (SNK) 設立

## 施工実績・技術開発

- 世界初の全列車空調 南満州鉄道特急「あじあ号」

- 日本原子力研究所(東海村)にわが国初の原子炉施設の空調施工

- わが国初の超高層ビル「霞が関ビル」に空調施工 初のBWR実用炉原子力発電「敦賀原子力発電所」に空調換気施工

- 工学センター開設

- 東京証券取引所市場第二部に上場

- 当時世界最大規模の複合ビル「ラッフルズシティ」の空調施工(シンガポール)

## 社会動向

- 第一次オイルショック

- 固定相場制から変動相場制に移行

1930  
創業期

1969

分離独立から発展～バブル期

1990

上場後の大競争時代

2005

経営改革の推進～新たな企業価値の創造へ

2022

### 新日本空調が培ってきた強み

#### 空調のパイオニアとして日本の産業の成長・発展に貢献

当社の歴史は20世紀の初めに幕を開けた米国キャリア社に遡る。高温多湿な日本に当時なかった「空調」という概念を持ち込み、産業の発展や保健衛生上の必要性を訴えた。

世界初の全列車空調施工、世界初の全船空調施工や日本初の超高層ビルの空調をはじめ、地域冷暖房、原子力施設、クリーンルームなどのパイオニアとして、日本の産業興隆期において重要な役割を果たす。



写真提供：三井不動産(株)

#### 新日本空調の設立、お客様との信頼関係を深化

工事業部門の独立に適う実績を受け、経営判断により工事業部門を分離・独立し、新日本空調株式会社を設立。高度経済成長による建設ラッシュを背景に順調に業績を拡大する。バブル期には過去最高の業績を達成。上場の準備が整う。

既存の建物もお客様ニーズに応え、空調設備を一新してお客様との信頼関係をさらに深めた。



#### 空気質の追求(クリーンルーム本格化と可視化技術開発)

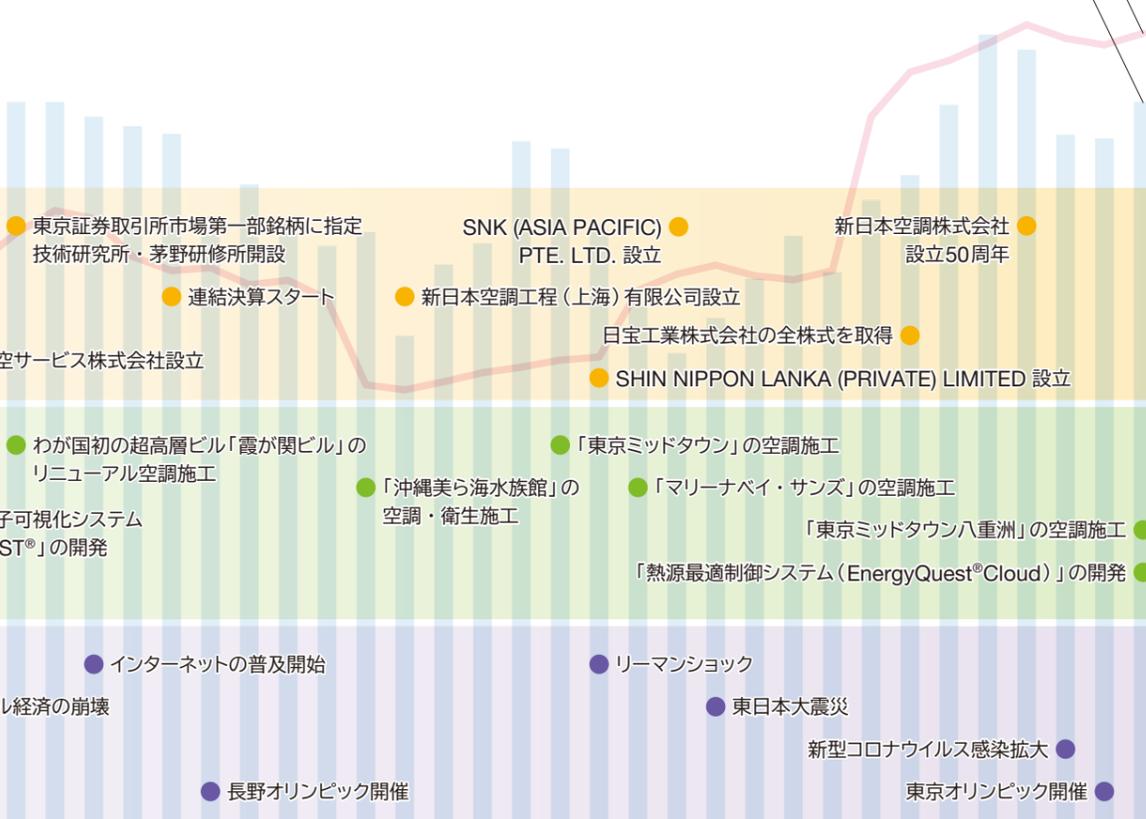
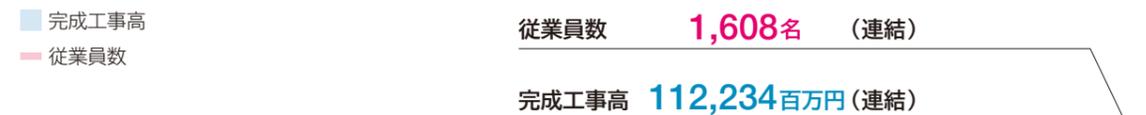
1991年のバブル崩壊による景気低迷期において、建設業も冬の時代に。赤字決算やリストラの敢行を経験。そのような中、新分野へチャレンジ。東証一部上場をきっかけとして設立した技術研究所(現 技術開発研究所)において、微粒子可視化技術を開発。

1995年からのインターネットの普及をきっかけに、世界的に半導体ニーズが増加。クリーンルームの品質向上に寄与する微粒子可視化技術のニーズが高まった。



#### 理論と実証の積み重ねに裏付けられた課題解決力

経営改革を推進。東日本大震災をきっかけに省エネと防災意識が広がる。新日本空調としても省エネ技術の開発に注力。熱源最適制御システム(EnergyQuest®Cloud)、AiR-Lo3(エアロスリー)®、柔ワイヤ工法®などの実績をつくる。2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大においては当社の微粒子可視化技術に再度注目が集まる。2022年にはTCFD提言に基づく気候関連の情報開示を行い、持続可能な地球環境の実現につなげていく道筋を示した。



トップメッセージ

プロフィール

戦略

基盤

財務・企業データ